左：隠岐空港にて　　右：学内での複歩幅測定

Human Geography

人文地理学専修

人文地理学とは、人間と環境・地域との関係を考察し、事象の空間的な分布がどのようなプロセスで形成されるのか、その成因を探究する学問分野です。そこでの主なキーワードには、環境・地域・空間・景観・場所・ネットワーク・フローなどがあり、多様な視点を持つのがこの分野の特徴です。人文地理学専修では、人間―環境関係、人間―空間関係をさまざまな角度から分析・考察しています。講義を通じて先行研究の視点や、方法論・手法などを理解し、演習や実習では、論文講読・フィールドワーク・データ解析・図表作成・プレゼンテーションなどを体験し、知識を深め、技術を習得します。人文地理学専修は1995年に講座化されましたが、大阪大学には1950年代以来、人文地理学者が在籍し、地図研究の蓄積があります。また、近年では都市・農村研究の蓄積もあり、多面的な研究と教育を行ってきています。間口が広い専修であるといえるでしょう。

入口がたくさんあるのが人文地理学です！ 人文地理学では、人間と地域・環境・空間・場所との関係を、現地調査を重視しつつ、論理的・分析的に探究します。多くのことに関心のある人を待っています。 人文地理学では、調査・研究の方法論や技法の理解、論理的な思考、そして現地調査などの経験を重視した教育を行い、地域や空間で展開する問題を構造的に捉える視点を養います。

https://www.let.osaka-u.ac.jp/geography/

教員

堤 研二（つつみ・けんじ） 教授
佐藤廉也（さとう・れんや） 教授
井本恭子（いもと・やすこ） 准教授
蒋 宏偉（じゃん・ほんうぇい） 助教

何を学んでいるの？

人文地理学の考え方
人間と環境との関わりを研究する学問として、熱帯や温帯地域の環境利用・環境問題・人口誌・文化の拡散といった題材の研究事例を紹介しつつ、地域性や地域文化の形成要因といった問題にせまる地理学的な方法論を学びます。

人文地理学の話題
主に都市に焦点を当て、都市化・都市システム・都市の内部構造・都市圏などに関する理論と事例について学び、地図・写真・映像など多彩な資料を通じて都市にアプローチします。

どんな授業があるの？

［講義題目］
人文地理学の展開と社会経済地理学
人間・環境関係論
人文地理学からみた近代移行期の日本における地域変化
自然地理学の基礎とその応用

［演習題目］
人文地理学演習（基礎演習Ⅰ・Ⅱ）
人文地理学演習（文献講読）
地誌学演習（地域調査実習）
人文地理学卒論演習

教員が選ぶ印象に残った卒業論文

日本における女性就業の地域差とその要因
日本の女性就業率は、子供を育てる年齢に大きく落ち込むことが知られていますが、実は日本全国で大きな地域差がみられます。 この卒論では、市町村レベルの全国データを用いて分析を行い、経済的要因だけでなく文化や女性就業に対する意識が地域差の要因となっていることを明らかにしました。（選：佐藤廉也 教授）

［卒業論文題目］
親子農業体験学習への参加目的と学習効果に関する考察
大阪市中央区島之内における中国系飲食店の形成・変容・現状
通所介護施設における機能訓練の地域格差
非大都市圏における女性雇用

Mission01：地理学で、新たな学びを開拓せよ！

研究室レポート

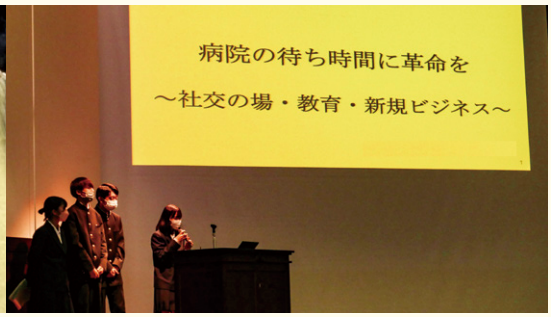
皆さんは「地理学」というとどのようなイメージを抱くでしょうか。地理学という学問は、「学者の数だけ地理学の数がある」と言われるほどに間口が広く、切り口も多い学問です。教科書には収まりきらない学びがあります。では、当研究室ではどのようなことを学んでいるのか？ということについて、少しご紹介していきます。

まず、講義・演習科目では、地域事象について学んだり、GIS（地理空間情報）のソフトを使用して地図を作成したり、地域データを統計手法によって分析したりしています。そして講義科目、演習科目に加えて、当研究室の特徴的な科目として地域調査実習があります。当研究室では、2014年から島根県隠岐の島町に継続して現地調査に行っています。調査は、当日だけが調査ではありません。小班に分かれ、林業、漁業、観光業、交通など様々なテーマを設定し、それらに基づいて資料集めや下調べを行った上で、聞き取り調査のアポイントメントを取るところまで準備しておく必要があります。私は林業をテーマにしていましたが、事業体や行政の方への聞き取り調査を通して、現場目線で林業における課題やそれらを取り巻く環境について生の声を聞くことができ、文献だけでは分からない学びを得られました。

最後にひとつ。これは持論なのですが、地理学とは、それ自体が目的というよりも、ある種、学びを広げる手段のようなものではないかと考えています。私は大学で初めて、歴史地理学、経済地理学、社会地理学など「地理学×〇〇」の可能性を知りました。地理学は、新たな学びへの可能性を広げてくれる学問です。皆さんも、ここ人文地理学研究室で一緒に学んでみませんか？

文=R.M.さん（4年）

人文地理学演習（基礎演習Ⅱ）における統計実習の様子



高大連携活動：大阪大学会館での隠岐高校生の研究発表（2022年10月）

知りたいことをさらに深める大きな経験だと思います。

研究室Q&A

なぜ人文地理学専修に?

★扱うテーマが幅広く、何でも研究対象にできそうだったから。
★地図や景色を見て、その場所の歴史や特徴について考えるのが好きだったから。
★データの分析などのスキルが身につきそうだと感じたから。
★座って本を読むのが中心の学問は自分に合っていないと思ったから。
★高校生のころから地理が好きだったから。

研究室に入って良かったことは?

★興味分野が全く違う研究室のメンバーと議論ができて、自分の教養の幅が広がった。
★全国の色んなお土産が食べられる。
★調査の手法などが学べて、地理学以外にも活かすことができた。
★人数が少ないため、一人一人へのサポートが手厚い。
★素敵な仲間との出会い！

研究室の雰囲気はどんな感じ?

★男女や先輩後輩を問わず仲がいい。
★授業や研究などには誰もが真面目に取り組むが、それ以外の時は和気あいあいとした雰囲気。
★個性的というか、自分の好きなものがハッキリしている人が多いと思った。
★他の研究室と比べて開放的で過ごしやすい。

興味のある研究分野は?

★地名や空間認知、場所イメージ。
★災害地理学や地理的表示。
★高齢者の生活や介護サービスを対象とした地理学。

入学してくる後輩にメッセージを！

★大学生活ではいろんな場所に行って、いろんなことに興味や疑問をもってみてください！　人文地理学研究室ではそれに取り組む環境が待っています。
★間口の広い学問分野なので、自分のやりたい研究を見つけられると思います！
★隠岐の島の海に飛び込みましょう。
★専修選びで後悔したくないならココです。お待ちしております。